

令和 8 年度事業計画

はじめに

沖縄北部地域は、海や山の豊かな自然環境や古くから受け継がれてきた歴史・文化など多様な観光資源を有し、年間 450 万人以上の観光客が訪れる沖縄県内でも重要な観光エリアとなっています。しかし、二次交通や旅マエの情報発信不足により、滞在時間や宿泊日数が短く、観光による地域経済への波及効果は十分に発揮されていません。さらに、北部地域は沖縄本島の半分を占める広大なエリアであることから、移動や周遊を促す仕組みづくり、滞在型観光の推進など各市町村単独では解決が困難な広域的課題が多く存在します。そこで、観光を軸に北部 12 市町村が連携し、北部地域全体の所得の向上と経済効果の最大化を図る中核組織として、地域 DMO（沖縄やんばる DMO）の設立が検討されてきました。

令和 8 年度は設立年として組織体制の構築を行いつつ、すでに北部広域市町村圏事務組合が先行として実施しているリーディングプロジェクト事業を展開していきます。

マーケティング事業では、北部 12 市町村に関係する観光関連データを収集・集約した観光データマネジメントプラットフォームの構築・拡充・運営を行うとともに、ウェブサイト構築・運営をしていきます。また、北部地域観光周遊計画実証事業では、令和 7 年度に検討をした実証計画を検討した観光周遊ルートをもとに、北部地域を周遊する観光周遊バス運行の実証実験の支援をいたします。加えてこの事業では、北部地域での観光周遊を促すためことを目的に、やんばるブランド戦略の策定や域内・域外に向けたブランドの浸透に向けたワークショップや情報発信を実施します。

マネジメント事業では、本部港クルーズ船受け入れ事業において、本部港に寄港するクルーズ船の受け入れに係る業務を実施いたします。また、観光人材育成・獲得事業では、令和 7 年度の策定した観光人材育成カリキュラムをもとに、人材育成事業のトライアルを実施いたします。

また、当法人の会員獲得に向けた活動や会員向けに観光データマネジメントプラットフォームの勉強会の開催や刊行物の配布等を実施いたします。

最後に、組織経営の健全化を図るべく、安定的な組織運営と人材の確保、定着を目指します。

＜リーディングプロジェクト一覧＞

1. マーケティング事業

(1) 観光データマネジメントプラットフォーム構築/運営

1) 情報発信ウェブサイト構築/運営

北部地域の魅力を効果的に発信し、地域全体の認知度向上と観光回遊の促進を図るため、観光 Web サイトの情報更新およびコンテンツ強化を実施します。各市町村が保有する観光資源、イベント、アクティビティ等の情報を整理・拡充し、地域の特色が分かりやすく伝わる構成へ改善します。また、写真・動画などの素材提供体制を整備し、掲載内容の質を高めることで、地域間の情報発信格差を解消し、北部地域全体として統一的なブランド発信を推進します。さらに、利用者の行動導線を踏まえたサイト構造の見直しや検索性の向上、多言語対応の強化を行い、国内外の利用者にとって使いやすいサイト運営を実現します。これらの取組により、地域の魅力発信力を高め、観光需要の拡大と地域経済の活性化につなげることを目指します。

2) プラットフォーム整備事業

北部地域における観光関連データの収集・分析・活用体制を強化し、地域の観光動向を的確に把握できる環境を整備することを目的とします。宿泊・人流・消費・満足度等のデータ項目を見直し、収集方法の標準化と精度向上を図るとともに、分析基盤の機能改善を行い、比較分析や時系列分析など利便性を高めます。さらに、行政、観光協会、地域事業者、教育機関を対象としたデータ利活用ワークショップを実施し、分析スキルの向上と活用文化の醸成を促進します。これらの取組により、地域課題の把握や施策立案に資するデータ活用環境を整え、北部地域の観光振興の質的向上を図ります。

- ① 観光データ収集・分析基盤の強化
- ② 分析基盤（ダッシュボード等）の機能強化と利便性向上
- ③ データ利活用ワークショップの開催

(2) 北部地域観光周遊計画実証事業

1) PMO 業務

ジャングリアの開業や世界自然遺産の登録をはじめ、本部港へのクルーズ船就航など観光客の増加が期待されています。他方、2次交通が不十分なため運転免許を持たない外国人や高齢者、Z世代等、レンタカーを利用しない観光客は周遊手段が限られており、限られた範囲内での観光に留まっているため、北部地域全体の観光資源を十分に活用できていない状況にあるのが現状です。令和8年度は、昨年度に策定した北部地域観光周遊計画に基づいて、既存の交通を最大限活用・支援しながら、様々な観光周遊ルート（観光資源）に結びつくような実証運行を円滑に実施できるよう支援業務を実施いたします。

- ① 実証化や周遊促進のための検討・調整
- ② 実証業務支援
- ③ 上記に係る進捗管理・全体調整、実証結果の調査分析

2) 観光資源高付加価値化業務

効果的な周遊促進に向けては、交通の整備のみならず、目的地となる観光資源の磨き上げや、やんばる地域のブランディング等による高付加価値化に取り組みます。

本事業では、北部地域全体を対象としたブランド戦略を策定し、「やんばる」の歴史・自然・暮らしを軸に、地域価値や世界観を体系的に整理・言語化いたします。あわせて、ブランドコンセプトに基づく情報発信の基本方針を定め、観光事業者や関係団体が共通して活用できる指針やツールを整備いたします。これにより、広域的に統一されたメッセージのもとで他地域との差別化を図り、戦略的な誘客を推進することで、滞在日数の延伸と観光消費額の拡大を目指します。さらに、地域内外における「やんばる」への理解と共感を醸成し、事業者間の連携強化と住民の主体的な参画を促進することで、地域一体となった持続可能な観光地の形成とブランド価値の向上を実現いたします。

2. マネジメント事業

(1) 本部港クルーズ船受け入れ事業

北部地域は、沖縄美ら海水族館や世界自然遺産のやんばるの森、今帰仁城跡など、魅力的な観光資源が豊富であるが、海の玄関口である本部港では、他の寄港地と比較して寄港回数が少なく観光機会の損失につながっています。

本事業では、本部港へのクルーズ船の寄港状況や滞在中の観光客の行動を把握・調査分析し、それに基づいて多様な関係者との持続可能な受け入れ体制を構築します。また、北部エリア全体への観光周遊を促進するための方策、域内消費額向上の方向性を検討し、クルーズを活用した北部地域の観光振興に寄与することを目的とします。

① クルーズ船受入業務

歓迎、初寄港セレモニー、観光案内、特産品販売、二次交通手配、通訳案内、見送り時アトラクション等を行います

② 動向調査・ニーズ把握

客層や時期によって異なるクルーズ船客の動向や消費額、満足度、再来訪意向等を調査しニーズを把握します

③ 消費額向上施策策定

動向調査の結果を踏まえ、クルーズ船客のニーズに合致した特産品の販売および現地のオプション商品を船社へ提案し、周遊促進による域内消費額向上に繋がります

④ 受入体制整備

令和7年度で製作したマニュアルのブラッシュアップします

(2) 観光人材育成事業

北部地域では、インバウンド対応や宿泊施設の人手、ガイド等の数・質ともに不足しており、観光人材の育成と確保が課題とされています。受入側の人材不足が続けば、観光客への対応力の低下やサービスの質のばらつきが生じ、観光客の満足度低下による経済効果の縮小が懸念されています。

本事業では、昨年度策定した観光人材育成のカリキュラムをもとに、研修の本格化に必要な準備と一部カリキュラムの試行的実施、その成果や課題を分析し、カリキュラムをブラッシュアップいたします。

3. 組織の基盤確立

設立初年度として、持続可能なDMO運営の基盤構築を最優先課題とします。具体的には、意思決定フローや権限規程、業務分掌の明確化、内部統制体制の整備を行い、透明性と迅速性を両立した組織運営を確立します。

また、KGI・KPIを設定し、PDCAサイクルに基づく進捗管理を徹底します。あわせて、会員制度の拡充と情報共有の仕組みを構築し、12市町村の行政機関および民間事業者、教育機関との連携強化を図ります。さらに、安定財源の確保に向けた自主財源の検討や、人材の確保・育成・定着に向けた評価制度および研修体制の整備を進め、地域に信頼される自立型組織への成長を目指します。